

# 国際シンポジウム

「よみがえれアンコール・ワット、修復はカンボジア人の手で  
- by the Cambodians, for the Cambodians 30年 -」



អាជ្ញាធរអប្សរា  
APSARA



日時／2019(平成31)年2月22日(金)13時～17時25分  
開場:12時30分～ 要事前申込み

場所／上智大学国際会議場(2号館17階)千代田区紀尾井町7-1

言語／カンボジア語/日本語(逐次通訳)

カンボジア語通訳:ラオ・キム・リアン博士(アジア人材養成研究センター研究員)  
ニム・ソティーン博士(アジア人材養成研究センター研究員)

開会挨拶

佐久間勤(上智学院理事長/イエズス会高等教育担当理事)

基調講演

「カンボジアの文化遺産を守る保存官たち」  
H.E.プーン・サコナ閣下(カンボジア王国政府文化芸術省大臣)

報告

「アプサラ機構の役割とその活動」  
H.E. ハン・ペウ(アプサラ機構副総裁)

「アンコール・ワット西参道の現場から～遺跡局長として～」  
Dr.リー・ヴァンナ(アプサラ機構遺跡局長)

「技術アドバイザーの立場から」  
平山善吉(西参道修復技術交流研修委員会委員長)

「アンコール・ワットの保存官としての取り組み」  
マオ・ソックニー(アプサラ機構保存官)

「1996年からのアンコール・ワット西参道修復工事」  
三輪悟(アジア人材養成研究センター特任助教)

パネルディスカッション「西参道において検証された伝統技法」

Dr.リー・ヴァンナ(アプサラ機構遺跡局長)  
アン・ソピアブ(アプサラ機構保存官)  
平山善吉(西参道修復技術交流研修委員会委員長)  
三輪悟(アジア人材養成研究センター特任助教)  
司会:石澤良昭(アジア人材養成研究センター所長)

参加申込みはこちらから  
<https://eipo.jp/sophia/>



閉会挨拶

H.E.ウン・ラチャナ閣下(駐日カンボジア大使)  
櫻井友行(独立行政法人 国際交流基金理事)

主催/国際交流基金アジアセンター、上智大学アジア人材養成研究センター  
後援/外務省、JICA、文化遺産国際協力コンソーシアム、ANAホールディングス、  
三菱商事株式会社、サタバナ銀行(カンボジア)、日本通運株式会社、  
一般社団法人日本建設業連合会社会貢献活動協議会(順不同)

連絡先/上智大学アジア人材養成研究センター TEL:03-3238-4136 E-mail:sacrhd@cl.sophia.ac.jp

ASIAcenter  
JAPAN FOUNDATION